

新型コロナウイルス感染防止に向けた対応（概要）

札幌保健医療大学

各地で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の発生が報告され、WHO がパンデミック宣言を表明する事態となっています。本学において、もし感染者が発生した時には、学年閉鎖や大学閉鎖となり、学習を継続することが難しくなります。そのような状況を絶対回避するためにも、保健医療専門職者を目指す学生として、どのような行動が必要なのかを是非考えてほしいと思います。

「本学から一人の感染者も出さない！」を目標に、学生・教職員それぞれが責任ある行動をとりましょう。今回、授業を開始するにあたり、皆さんに必ず守ってほしいことをまとめましたので、しっかりと目を通して実行してください。詳細は **別冊パンフレット** に書かれていますので、別冊も必ず一読してください。

保健医療専門職者を目指す学生として、**正しい情報を収集し、冷静に判断して適切に行動する人間力**を身につけて行きましょう。

【皆さんに必ず守ってほしいこと】

1. 毎朝・毎晩体温を測り、自分の体温を体温管理表に記入する。
 2. 発熱（37.0度以上）や風邪症状がある場合は事務局学務課（011-792-3350）に連絡する。
※発熱（37.0度以上）は本学独自の基準です。
 3. 熱がさがらない場合、感染または濃厚接触者となった場合は別表のとおり対応する。
 4. 登校時には、正しくマスクを着用する。
 5. 校舎に入る際は、玄関（1号館、4号館）に設置されているアルコールで手指消毒をする。
（トイレの前にもアルコールを設置しているので、随時手指消毒をする）
 6. 石けんによる正しい手洗いを定期的に行う。
 7. 授業を受ける際は、決められた座席（学籍番号順）に着席する。
（万が一、感染者が発生した時に適切な対処をするためです）
 8. 演習室は、指定された入室可能な人数で、十分な距離をとって使用する。
 9. 授業中は、私語は厳禁、休憩時間でも近距離内（お互いに手をのばして届く距離）での会話をしない。十分な距離をとって話をする。
 10. 定期的（30分ごと）に窓を開け5分程度の換気をする。ドアは常に少し開けておく。
（各自で寒さ対策をしてください）
 11. 授業終了時に、自分が使用した座席（机・椅子）、使用した演習室・実習室を、教室に設置されている消毒グッズ（スプレーボトル（エタノール製剤）、ペーパータオル）で必ず消毒してから帰宅する（手指消毒には使用不可）。
 - 12.ロッカー室のドアと窓は常に開放しておく。着替えをする時のみ、窓を閉める。
 13. 通学バスは、換気のため窓を開けて走行するので、各自で寒さ対策をする。
 14. 十分な栄養と睡眠をとり、免疫力の維持・増進に努める。
- *教員はマスク着用のまま授業を行います。

*「このくらいは良いかな」「私くらいしなくても良いかな」「次からで良いかな」の、**ほんの少しの気のゆるみが大変な事態を招く**恐れがあることを、保健医療専門職者を目指す学生として、常に意識しておきましょう。

【次のことを守って感染防止に努めよう！！】

1. 正しいマスクの着用

正しいマスクの着用

① 鼻と口の両方を確実に覆う

② ゴムひもを耳にかける

③ 隙間がないよう鼻まで覆う

2. 咳エチケット

3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやろう

マスクがない時

とっさの時

マスクを着用する (口・鼻を覆う)

ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う

何もせずに咳やくしゃみをする

咳やくしゃみを手でおさえる

3. 正しい手の洗い方

正しい手の洗い方

手洗いの前に

- ・爪は短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう

① 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

② 手の甲をのぼすようにこすります。

③ 指先・爪の間を念入りにこすります。

④ 指の間を洗います。

⑤ 親指と手のひらをねじり洗いします。

⑥ 手首も忘れずに洗います。

4. 大学外での生活について

(1) 不特定多数の人と接触を避けるために、不要不急の外出は自粛しましょう。

(2) 不特定多数の人と接触を避けるために、旅行(特に国外旅行)、人数が集まる催し、イベントなどへの参加は自粛しましょう。

特に、「密閉空間で換気が悪い場所」・「手の届く距離に多くの人がある場所」・「近距離での会話や発声を行う場所」は、感染のリスクが高いため、このような場所へ行くことは自粛しましょう。**例えば、スポーツジム、ライブハウス、カラオケ、懇親会(居酒屋・自宅)など**は発生しやすい場所といわれていますので、注意しましょう。

① 換気の悪い 密閉空間



② 多数が集まる 密集場所



③ 間近で会話や 発声をする 密接場面



新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。
イベントや集会で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。



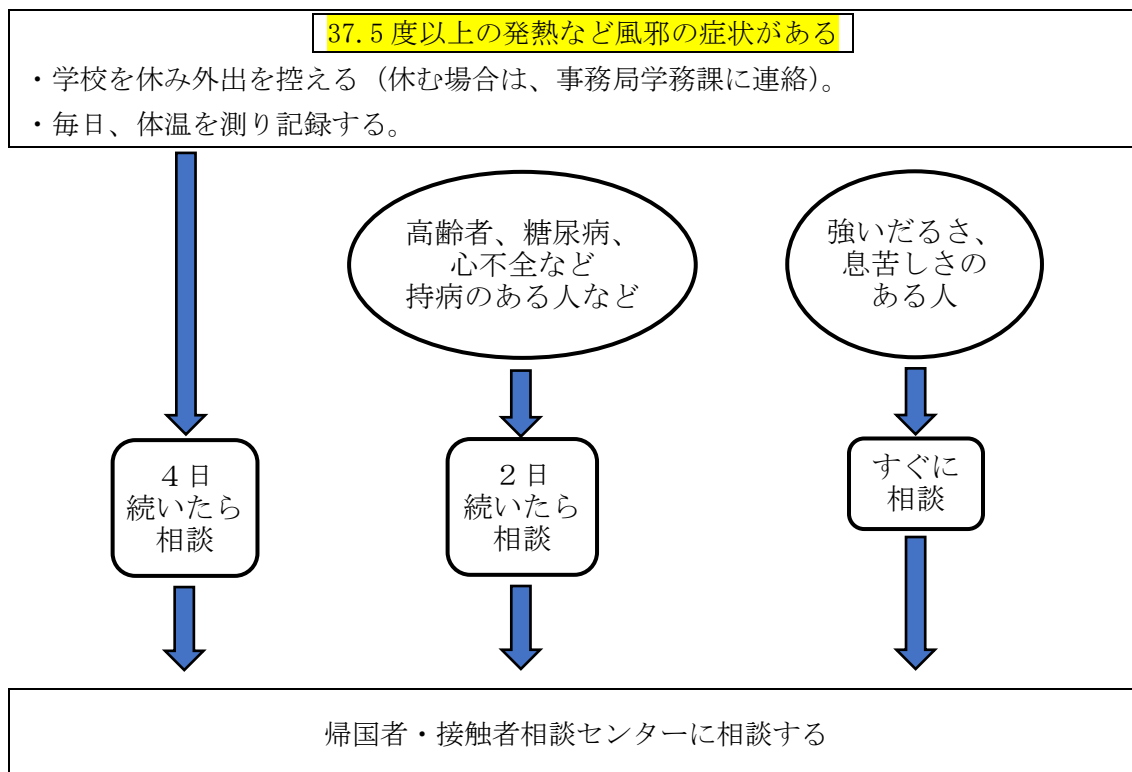
**3つの条件がそろう場所が
クラスター(集団)発生の
リスクが高い!**

※3つの条件のほか、**共同で使う物品**には消毒などを行ってください。

※厚生労働省 HP より

別表 熱がさがらない場合、感染または濃厚接触者となった場合

1. 熱がさがらない場合



※北海道の「帰国者・接触者相談センター」は次のとおり

帰国者・接触者相談センター	電話番号	開設時間
札幌市保健所 (救急安心センターさっぽろ【受診相談】)	011-272-7119 (#7119)	24時間
旭川市保健所	0166-25-9848	8:45~21:00 (土日祝も含む)
市立函館保健所	0138-32-1547	平日 8:45~19:00
江別保健所	011-383-2111	平日 8:45~17:30
小樽市保健所	0134-22-3110	平日 8:50~17:20
千歳保健所	0123-23-3175	平日 8:45~17:30
※上記以外に住んでいる方		
道立保健所	北海道のHPで検索 ※以下のURL参照	平日 8:45~17:30
北海道保健福祉部健康安全局地域保健課	011-204-5020	24時間

※道立保健所一覧 <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kth/kak/tkh/hokensho/hokensho.htm>

2. 感染または濃厚接触者となった場合

事務局学務課（011-792-3350）に連絡。「別冊パンフレット」15頁にある状況の報告を行う。

3. 予防策を知りたい、症状はないが不安な方、一般的な相談をしたい方

「別冊パンフレット」14頁を参照。